

2012年11月19日経営会議の概要

日時 : 2012年11月19日(月) 午前9時~午前11時
会場 : 政策会議室
委員・幹事 : 市長、鷲北副市長、加藤副市長、政策経営部長、総務部長、財務部長、経営改革室長、広報担当部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、秘書課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長
説明 : 議題1 市民協働推進担当部長、男女平等・消費生活担当課長 議題2 子ども生活部長、子ども生活部次長、子育て支援課長、子育て相談担当課長

議題1 : 第3次男女平等推進計画(案)の策定について

(市民部)

【付議の目的】

- 第3次男女平等推進計画(案)について承認を受ける。

【提案の概要】

近年、雇用形態の多様化や少子高齢化の進展による生産年齢人口の減少、未婚・離婚の増加や単身世帯・ひとり親世帯の増加など、社会経済の状況は刻々と変化を遂げ、新たな対応が求められている。また、国においては、「男女雇用機会均等法」の改正をはじめとした男女平等を取り巻く様々な制度が整備されてきた。

こうした現状を踏まえた上で、2010年度に実施した「男女平等に関するアンケート調査」の結果を考慮し、男女平等に関する取り組みをより効果的に推進していくため、「町田市男女平等推進計画(第2次)」の終了年度を2年前倒しし、「第3次町田市男女平等推進計画」を策定する。計画には、基本目標ごとに達成すべき成果目標を掲げ、計画の進行管理体制と具体的な取り組みを明確にして実施していく。また、庁内の各課と連携しながら計画の推進を図る。

これにより、市民一人ひとりの生き方に沿った男女平等参画社会の実現を目指す。

【主な意見】

- 2012年度を初年度として計画を開始するのであれば、2012年度中に実施する取り組みについても推進を図るため、推進体制や進捗管理の仕方を整理しておく必要がある。
- 「計画策定の趣旨・背景」及び、基本施策のタイトルについて、文言整理を行う必要がある。
- 第3次計画の特徴が明確に分かるように、表現を工夫するとよい。

【会議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

【付議の目的】

○マイ保育園事業の実施及び、地域子育て相談センターの事業骨格と組織体系について承認を受ける。

【提案の概要】

町田市では、2001年に市内7箇所(公立保育園内)に地域子育てセンターを設置し、地域の子どもとその家族に対する支援を進めてきた。

全国的にも、核家族化の進行や、地域社会における人間関係の希薄化によって、気軽に子育てに関する相談ができない親が増えている状況の中で、様々な悩みを抱えた子育て家庭に対し、関係機関によるきめ細かな子育て支援が求められている。

こうした現状を踏まえ、地域で子どもの成長を支援する取組をさらに推進するため、市内すべての公立・法人立保育園が連携し、地域の子育て家庭が歩いていける範囲で気軽に相談できる「かかりつけ窓口」(マイ保育園)の設置を進めていく。また、2014年度から地域子育てセンターを、地域の相談拠点である「(仮称)地域子育て相談センター」として5箇所に集約し、マイ保育園のバックアップや専門機関との連携を強化するとともに、社会と接点の少ない子育て家庭へは積極的にアウトリーチ(訪問等)を展開するなど、地域全体での子育て支援の充実を図る。

【主な意見】

○2014年度に設置する地域子育て相談センターで核となる「アウトリーチ事業」や「マイ保育園」といった文言について、市民が理解しやすい表現となるよう工夫すると良い。

○マイ保育園事業の実施や地域子育て相談センターの設置に伴う組織改正にあたっては、事務局の機能を整理し、子ども・子育て関連3法の趣旨を見据えた組織編制を検討する必要がある。

【会議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。